

茨城県弁護士会憲法シンポジウム 主催：茨城県弁護士会

共催：日本弁護士連合会（予定）・関東弁護士会連合会（予定）

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

## 核兵器も戦争もない世界をつくるために

### ～原爆裁判を現代に活かす



田中熙巳（たなか・てるみ）

日本被団協代表委員・ノーベル平和賞受賞演説者



大久保賢一（おおくぼ・けんいち）

日本反核法律家協会会長・弁護士

日時 2025年3月8日（土）13：30～16：00

場所 茨城県県南生涯学習センター 中講座室1（定員100名）

茨城県土浦市大和町9番1号 ウララビル5階（常磐線土浦駅直結）

会場参加は、以下のフォームから、事前申し込みをお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/130TbhN98Zxj4HrUg2Luou8vhtHT7Se947effWslWQT0/preview>

先着順100名。申し込み期限は、2月末日まで。会場参加は、無料です。



ZoomによるWeb開催を併用いたします。

ZoomのURLとQRコード、ウェビナーIDは下記の通りです。

<https://us06web.zoom.us/j/86808682298> ウェビナーID: 868 0868 2298



当日、直接入力の上、ご視聴ください。視聴無料です。

事前登録は、不要です。

茨城県弁護士会ホームページからのご案内できます。

問い合わせ先：茨城県弁護士会 茨城県水戸市大町2 -2 -7 5

電話 029-221-3501

## 【企画趣旨】

2024年、日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞しました。授賞式において演説された日本被団協代表委員田中熙巳さんを講師にお迎えし、核兵器廃絶の実現、原爆被害者の救済について、お話いただきます。

また、日本反核法律家協会会長である大久保賢一弁護士に1955年に提訴された「原爆裁判」の経緯、意義をお話しいたします。加えて、核兵器禁止条約の制定に至る過程、今後の市民・政府が向かうべき方向について、述べていただきます。

## 【内容】

- ① 基調報告 大久保賢一 氏（「原爆裁判」核兵器禁止条約について）
- ② 基調報告 田中熙巳 氏（被団協のノーベル平和賞受賞について）
- ③ 基調報告を受けての意見交換

## 【大久保賢一氏 プロフィール】

1979年弁護士登録(埼玉弁護士会)

日本弁護士連合会憲法問題対策本部核兵器廃絶部会座長

日本反核法律家協会会長 核兵器廃絶日本 NGO 連絡会共同代表

著書 「『原爆裁判』を現代に活かすー核兵器も戦争もない世界創るためにー」2024年・日本評論社  
「『核兵器廃絶』と憲法9条」2023年・日本評論社

## 【田中熙巳氏プロフィール】

1932年4月29日 中国東北部（旧満州）生まれ。

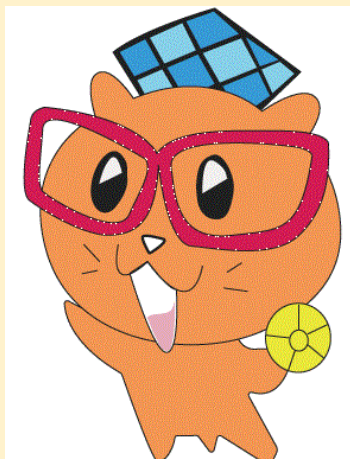
1945年8月9日 県立長崎中学校1年在学時、爆心地から3.2キロの地点で原爆被爆。

工学博士。1972年から、被爆者運動に関わり、宮城県原爆被害者の会や日本被団協の役員を歴任し、2000年6月より、日本被団協事務局長を務める。2017年6月より日本被団協代表委員。

埼玉県原爆被害者協議会会長

被爆者問題に関する編著・共著として、被爆証言集「ヒロシマ・ナガサキ 死と生の証言」（新日本出版社）、被爆証言集「あの日…」（新日本出版社）、沢田昭二編（共著）「広島、長崎原爆被害の実相」（新日本出版社）など。

お助けニャン(茨城県弁護士会マスコットキャラクター)



お助けさん (同)

